

別表3 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目および配点

教科	出題科目名等			配点
国語	国語			200
数学	数Ⅰ・数A			100
	数Ⅱ・数B・数C			100
地理歴史, 公民	地総・地探, 歴総・日探,	から1又は2	から3	*300
	歴総・世探, 地総・歴総・公共,			
	公共・倫理, 公共・政経			
理科	物, 化, 生, 地, 基礎2科目	から1又は2		
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1		200
情報	情Ⅰ			100
合計				1,000

〈別表3 注意事項〉

- (1) 地理歴史, 公民から2出題科目を選択する場合の選択方法については次の通りです。
 - ・『公共・倫理』と『公共・政経』の組み合わせを選択することはできません。
 - ・『地総・歴総・公共』を選択した者は, 選択解答した問題の出題範囲と同一名称を含む科目の組み合わせを選択して受験することはできません。
 - (例: 『地総・歴総・公共』で「歴史総合」, 「公共」を選択解答した場合, 『地総・歴総・公共』と『歴総・日探』の組み合わせで受験することはできません。)
- (2) 『基礎2科目』は, 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎のうち2出題範囲の選択を表します。
- (3) 理科から2出題科目を選択する場合の選択方法については次の通りです。
 - ・本学では, 『基礎2科目』を選択した者は, 選択解答した問題の出題範囲と同一名称を含む科目の組み合わせを選択して利用することはできません。
 - (例: 『基礎2科目』で「物理基礎」, 「化学基礎」を選択解答した場合, 『基礎2科目』と『物理』の組み合わせで理科2科目の成績を利用することはできません。)
- (4) 「地理歴史, 公民」及び「理科」において, 2科目受験した場合の1科目利用には, 第1解答科目の成績を用います。
- (5) *は選択教科を示し, 4出題科目受験した場合は, 「地理歴史, 公民の第1解答科目」「理科の第1解答科目」及び「地理歴史, 公民と理科の第2解答科目から高得点の1科目」の合計3科目の成績を用います。
- (6) 大学入学共通テストの外国語の「英語」の配点には, リスニングの成績を含み, リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)を4:1の比率で換算し利用します。

なお, リスニングを免除された者は, リーディング(100点)を200点満点に換算します。

また, 「英語」以外を選択した場合は, 筆記(200点)の成績を利用します。

別表 4 旧教育課程履修者に対する経過措置

令和 7 年度共通テストの全ての受験者は、平成 30 年告示学習指導要領に基づく教科・科目の内容による試験を受験するのが原則ですが、本選抜を志願する旧教育課程履修者[※]は、以下のとおり定める旧教育課程による出題科目を選択解答することができます。

※旧教育課程履修者とは、以下の者以外を指します。

- ①高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）に令和 4 年 4 月に入学し、平成 30 年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和 7 年 3 月に卒業見込みの者
- ②中等教育学校の後期課程に令和 4 年 4 月に進級し、平成 30 年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和 7 年 3 月卒業見込みの者

教科	旧教育課程による出題科目名	利用可否
地理 歴史 (注1)	旧地理A	○
	旧地理B	○
	旧世界史A	○
	旧世界史B	○
	旧日本史A	○
	旧日本史B	○
公民 (注1)	旧現代社会	○
	旧倫理	○
	旧政治・経済	○
	旧倫理, 旧政治・経済	○
数学	旧数学I	×
	旧数学I・旧数学A	○
	旧数学II	×
	旧数学II・旧数学B	○
	旧簿記・会計(注2)	○
	旧情報関係基礎(注2)	○
情報	旧情報	○

〈別表 4 注意事項〉

- (1) 地理歴史、公民において、「旧倫理」と「旧倫理, 旧政治・経済」など、同一名称を含む科目の組み合わせで 2 科目を選択することはできません。また、新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目を組み合わせで選択することはできません。
- (2) 数学の「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」を選択できる者は、普通科・理数科を除く高等学校においてこれらの科目を履修した者、及び専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。